

日本雑草学会第49回大会プログラム

会期:平成22年4月9日(金) 評議員会、若手の会、一般公開シンポジウム
 4月10日(土) 一般講演、ポスター発表、受賞者講演、総会、懇親会
 4月11日(日) 一般講演、ポスター発表、小集会等

会場:AOSSA(福井市地域交流プラザ・福井県民ホール)
 〒910-0858 福井市手寄1丁目4番1号(JR福井駅東口隣接) Tel:0776-20-1530

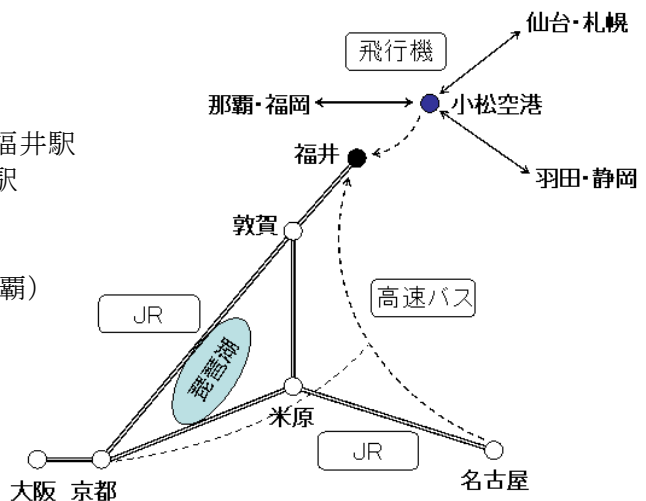
大会運営委員長 吉岡俊人 大会幹事 赤井賢成
 〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1 福井県立大学生物資源学部
 E-mail:conf2010@wssj.jp、Tel: 0776-61-6000(内線3612) Fax: 0776-61-6015

【会場周辺の案内】



【JR福井駅へのアクセス】

- 列車 (東京から3時間半、大阪から2時間弱)
 東京、名古屋 ⇒ 米原(乗換)JR北陸本線 ⇒ 福井駅
 大阪、京都 ⇒ 敦賀(経由)JR湖西線 ⇒ 福井駅
- 飛行機 (小松空港から空港バスで1時間弱)
 各地空港(札幌、仙台、東京羽田、静岡、福岡、那覇)
 ⇒ 小松空港 ⇒ 空港バス ⇒ 福井駅東口
- 自動車・高速バス
 北陸自動車道福井インターより15分
 東京、名古屋、大阪・京都から高速バス



1. 講演会 (4月10、11日 AOSSA 5、6、8F 第1～3会場、ポスター会場)

(1) 日程

日付	時間	第1会場 (8F 県民ホール)	第2会場 (6F 601)	第3会場 (6F 607)	ポスター会場 (5F ギャラリー)	
4月10日 (土)	9:00	入館開始				
	9:15	受付開始				
	10:00 ～ 12:00	一般講演 (1～8)	一般講演 (26～33)	一般講演 (51～58)	10:00までに ポスター掲示	
		昼食 (1時間)				
	13:00 ～ 14:45	一般講演 (9～15)	一般講演 (34～40)	一般講演 (59～65)	ポスター公開	
		休憩 (15分)				
	15:00 ～ 16:00	閉場	閉場	閉場	ポスター説明 1 (奇数番号)	
		休憩 (15分)				
	16:15 ～ 18:10	総会 学会賞授賞式 受賞者講演	閉場	閉場	ポスター公開	
		移動 (徒歩5分)				
	18:45 ～ 21:00	懇親会(ユアーズホテルフクイ)				
4月11日 (日)	9:00	入館開始				
	9:15 ～ 10:15	閉場	閉場	閉場	ポスター説明 2 (偶数番号)	
		休憩 (15分)				
	10:30 ～ 12:00	一般講演 (16～21)	一般講演 (41～46)	一般講演 (66～71)	ポスター公開	
		昼食 (1時間)				
	13:00 ～ 14:00	一般講演 (22～25)	一般講演 (47～50)	一般講演 (72～75)	ベストポスター賞 発表	
		休憩 (15分)				
	14:15 ～ 15:15	ベスト講演賞発表	小集会1	小集会3	14:00までに ポスター撤去	
15:20 ～ 17:00		小集会2				

(2) 一般講演 75題 (4月10、11日; AOSSA 8F 第1会場、AOSSA 6F 第2会場)
講演時間: 講演12分 質疑・討論3分

(3) ポスター発表 69題 (4月10、11日; AOSSA 5F ギャラリー)

説明1(奇数番号) (4月10日 15:00～16:00)

説明2(偶数番号) (4月11日 9:15～10:15)

2. 平成22年度総会および学会賞授賞式 (4月10日 16:15～17:10 AOSSA 8F 第1会場)

3. 学会賞受賞者講演 (4月10日 17:15~18:10 AOSSA 8F 第1会場)

業績賞 (20分)

受賞者: 與語靖洋 ((独)農業環境技術研究所)
業績名: 「リグニン生合成系制御に関する生理・生化学的研究」
座長: 富永 達

技術賞 (20分)

受賞者: 角康一郎、河合清、井沢典彦、清水力 (クマイ化学工業(株))
業績名: 「ビスピリバクナトリウム塩を選抜用試薬とする新規植物形質転換技術の開発」
座長: 渡邊寛明

奨励賞 (15分)

受賞者: 今泉智通 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター)
業績名: 「DNA多型解析を用いた水田雑草コナギのスルホニルウレア系除草剤抵抗性に関する研究」
座長: 内野 彰

4. 小集会 (4月11日 14:15~17:00)

小集会1 外来雑草問題研究会 (AOSSA 6F 601 第2会場、14:15~15:15)

「第3回 特定外来生物アレチウリを例としたネットワーク構築の可能性―」
話題提供者: 黒川俊二(中央農研)、平 智文(宮城県古川農試)、木浦卓治(中央農研)
世話人: 黒川俊二(中央農研)・浅井元朗(中央農研)・西田智子(農環研)

小集会2 第6回雑草の個体群生態学研究会・大会運営委員会企画 (AOSSA 6F 601 第2会場、15:20~17:00)

「繁殖干渉:近縁種の急激な置換をもたらす新要因」
講演者: 高倉耕一(大阪市立環境科学研究所) 「理論研究と雑草での実証例:タンポポを中心に」
藤井伸二(人間環境大学環境保全) 「分布パターンの解釈例:オナモミ類を中心に」
世話人: 渡辺 修(信大農)・浅井元朗(中央農研)・三浦励一(京大農)、大会運営委員会

小集会3 雑草利用研究会 (AOSSA 6F 607 第3会場、14:15~15:15)

「雑草からの植物病害抵抗性誘導物質の探索」
講演者: 稲垣栄洋(静岡県農林技術研究所)
世話人: 小林勝一郎(筑波大・生命環境)・沖陽子(岡山大・環境学研究科)

5. 懇親会 (4月10日 18:45~21:00) ユアーズホテルフクイ

会費 一般 6,000 円(前納 3 月 31 日まで、当日 7,000 円) 学生 3,000 円(前納・当日とも)

6. 日本雑草学会若手の会 (4月9日 15:00~17:20) 福井市地域交流プラザ(AOSSA 6F 601 第2会場)

「一般化線形モデル(GLM)で始める統計解析(再?)入門」
詳細は、次ページにある日本雑草学会若手の会案内を参照してください。

7. 一般公開シンポジウム (4月9日 17:30~19:30) 福井県県民ホール(AOSSA 8F 第1会場)

「水稲直播栽培における雑草防除;現状、課題、展望」
詳細は、次々ページにある一般公開シンポジウム案内を参照してください。

*****講演要旨の頒布に関するお知らせ*****

講演要旨の入手を希望される方は、学会事務局(〒110-0016 東京都台東区台東 1-26-6 植調会館内)宛て、代金(1冊 2,500 円、送料込み 3,000 円)前納でお申し込み下さい(振替口座: 00140-2-613163、加入者: 日本雑草学会)。講演会場でも有償頒布します。なお、講演要旨は大会開催前には送付いたしません。

一般講演 4月10日(土) 第1日 午前・午後

第1会場 (8F 福井県民ホール)		座長	第2会場 (6F 福井市地域交流プラザ601)		座長
講演番号	受付 (8F ロビー)		講演番号	受付 (8F ロビー)	
9:15		春原由香里 (筑波大)	9:55		吉田修一 (宮城県大河原普及センター)
分類番号	開会挨拶 (座長)		分類番号	開会挨拶 (座長)	
10:00	1 インダノファン(MK-243)に関する研究 ムギ用除草剤としての作用特性(第1報)	村岡智郎 (植調)	26	被覆植物を用いた植生管理圃場における昆虫相と雑草発生調査	川名義明 (中央農研)
3-1	○熊田秀治、豆塚弘毅、鎌田祐介(日本農業株式会社)		1-3	○藤井義晴(農環研)・野村卓史(東京農工大連合大学院)・松村 雄(農環研)・白井洋一(農環研)・福島昭(兵庫県農林水産総合センター)・生方雅男(北海道立花・野菜技術センター)・平井一男(農林水産技術情報協会)	
10:15	2 新規水稲除草剤テフリルトリオンに関する研究(第4報) -フェントラザミド、メフェナセットを含む混合剤の作用特性-	種田貞義 (植調)	27	カバークロップの自生化に關与する開花結実性および結実種子の休眠・発芽特性	山下雅幸 (静岡大)
3-1	○山岡達也*、大塚喜平*、峯岸なつこ*、杉浦健司*、白倉伸一**(*バイエル クロップサイエンス(株)、**Bayer CropScience AG)		1-5	○中谷敬子・澁谷知子・鄭 凡喜・三浦重典(中央農研)	
10:30	3 新規水稲除草剤テフリルトリオンに関する研究(第5報) -オキサジクロメホンを含む混合剤の特性-	森本正則 (近畿農大)	28	ノビエの繁茂が自脱型コンバインの収穫損失に及ぼす影響	青木政晴 (長野農研)
3-1	○谷澤貞幸・竹内崇(北興化学工業(株))、内田成・木村知美・北原克也(全国農業協同組合連合会)		1-3	○牛尾昭浩・須藤健一・加藤雅宣(兵庫県立農林水産技術総合センター)	
10:45	4 新規水稲用除草剤プロピリスルフロンの作用特性-①除草効力	種田貞義 (植調)	29	水稲用除草剤処理前の日照条件がノビエの除草効果に及ぼす影響	山下雅幸 (静岡大)
3-1	池田 源・○西山孝行・塚本 修・梶原ゆかり・大和誠司・木澤 悟・田中易(住友化学)		2-1	○大隈光善、山口晃、西田勉(植調福岡試験地)	
11:00	5 DCMU50%SCの開発 第1報 SC製剤の除草効果と適用作物の検討	種田貞義 (植調)	30	チェーン除草器具を取り付けた水田用除草機のコナギに対する除草効果	山下雅幸 (静岡大)
3-1	○安齋達雄・角龍市朗(保土谷UPL株式会社)		2-1	○安達康弘・月森弘(鳥根県農業技術センター)	
11:15	6 DCMU50%SCの開発 第2報 大豆用除草剤としての検討	森本正則 (近畿農大)	31	宮城県の水稲栽培圃場における難防除雑草の多発要因 -圃場管理履歴を基にした解析-	山下雅幸 (静岡大)
3-1	○角龍市朗・安齋達雄(保土谷UPL株式会社)		2-1	○大川茂範(宮城古川農試)・平智文(宮城古川農試)	
11:30	7 新規除草剤KIH-485の作用機構:標的酵素の特定及び酵素阻害解析	種田貞義 (植調)	32	飼料イネ湛水直播栽培におけるコナギの埋土種子量増減予測モデルと雑草許容水準の検討	山下雅幸 (静岡大)
3-2	○種谷良貴、藤岡智則、角康一郎、清水カ(クミアイ化学工業)		2-1	○川名義明・渡邊寛明(中央農業総合研究センター)	
11:45	8 パラコートによるイネ根節部の非光依存的な生育抑制作用へのNADPHオキシダーゼ阻害剤の影響	種田貞義 (植調)	33	草刈り強度の違いが水田畦畔植生へ及ぼす影響-伝統的棚田と慣行水田の比較-	山下雅幸 (静岡大)
3-2	○新聞紀文・春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)		2-1	○丹野夕輝・根岸春奈・市原実・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・稲垣栄洋(静岡農林研)	
12:00	昼 食				
13:00	9 コムギが示すエナントチオ選択的阻害機構に関する基礎的研究	清水カ (クミアイ化学工業)	34	寒冷地における有機栽培転換期の水田雑草制御の課題と対策	保田謙太郎 (秋田県大)
3-2	○小島久弘(宇都宮大・雑草科学)、重川弘宜(宇都宮大・雑草科学)		2-1	○岩石真嗣・加藤茂・阿部大介・三木孝昭(自然農法センター農業試験場)	
13:15	10 トリフルラリン抵抗性スズメノテッポウの休眠覚醒	仲森前原貴志 (東京農大)	35	休耕田管理法の違いが雑草の抑草効果に及ぼす影響-米ぬか処理の適用可能性-	佐治健介 (白崎グリーンナッツ)
3-3	○大段秀記・住吉正・小荒井晃(九州沖縄農業研究センター)		2-6	○根岸春奈・市原実・丹野夕輝・山下雅幸・澤田均・浅井辰夫(静岡大・農)・稲垣栄洋(静岡農林研)	
13:30	11 ドコムギ属におけるALS遺伝子の変異と除草剤抵抗性	仲森前原貴志 (東京農大)	36	クロルピクリンの深層土壌処理によるヤブガラシ地下根の防除効果の検討	佐治健介 (白崎グリーンナッツ)
3-3	○小林健児・三浦勲一・富永達(京大・農学研究科)		2-2	○大城篤・照屋寛由・仲里富雄・仲村伸次(沖縄県農業研究センター名護支所)	
13:45	12 マドルライラック(<i>Gliricidia sepium</i>)のアレロパシーと全活性法に基づく作用物質の同定	野村卓史 (宇都宮大)	37	除草作業の観点から推定するダイズ栽培で必要とされる雑草制圧程度	石川枝津子 (北農研)
3-5	○竹村知子・作野えみ・加茂綱嗣・平舘俊太郎・藤井義晴(農業環境技術研究所)		2-2	○辻博之1、栗崎弘利2、永田修1、大下泰生1(1. 北海道農業研究センター、2. JAびばい)	
14:00	13 Allelopathy in medicinal plants commonly used in Pakistan: Bioactivity-guided isolation of allelochemicals from <i>Withania somnifera</i>	野村卓史 (宇都宮大)	38	筑後南部地域の妻圃における除草剤抵抗性スズメノテッポウの多発事例 -土塊の大小と除草効果の変動-	石川枝津子 (北農研)
1-3	○Sairah Syed (PMAS-UAAR), Tsunashi Kamo (NIAES), Zahida Iqbal (PMAS-UAAR), Zammurad Iqbal Ahmed (PMAS-UAAR), Yoshiharu Fujii (NIAES)		2-2	○西田 勉・山口 晃・大隈 光善(日本植物調節剤研究協会 福岡試験地)	
14:15	14 <i>Diplostegium foliosissimum</i> に含まれるアレロケミカルの同定	野村卓史 (宇都宮大)	39	耕起体系によるネズミムギ出芽率の違いが場所により異なるのは何に起因するのか?	石川枝津子 (北農研)
1-3	○小野センリア(東京農大)、加茂綱嗣(農環研)、宮浦理恵(東京農大)、藤井義晴(農環研)		2-2	浅井元朗(中央農研)・○市原実・足立行徳・山下雅幸・澤田均(静岡大・農)・石田義樹・稲垣栄洋(静岡農林研)・木田揚一(静岡県産産部)	
14:30	15 オニグルミ(<i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.)の他感作用の評価およびオニグルミの他感作用を利用した外来種ニセアカシアの生態制御に関する研究	野村卓史 (宇都宮大)	40	深耕によるカラスムギの耕種防除とモデルによる持続性評価	石川枝津子 (北農研)
1-3	○鄭矩(東京都大)・藤井義晴(農環研)・小堀洋美(東京都大)・吉崎真司(東京都大)		2-2	○浅井元朗(中央農研)・小磯由美・金井小喜子(本庄農林振興センター)・新井美里・大野晃義(春日部農林振興センター)	
14:45	休憩				
16:15	総会・学会賞授賞式・受賞者講演		閉場		
18:30	終了				

一般講演 4月10日(土) 第1日 午前・午後

第3会場 (6F 福井市地域交流プラザ607)		ポスター会場 (5F ギャラリー)	
9:15	講演番号	受付 (8F ロビー)	座長
9:55	分類番号	開会挨拶 (座長)	富浦理恵 (東京農大)
10:00	51	マラウイの畑作におけるパーマカルチャーを用いたアグロフォレストリー構築による作物生産の安定と雑草制御(予報) ○伊藤一幸・竹村光春・エバンス アテラ(神戸大学院農)・山口智大(NICCO)モーゼス ムンタリ(マラウイARC)	ポスター掲示
10:15	52	The influence of weed species and growth stage on the efficacy of natural product herbicides ○Sakae Horimoto (Saga Univ.), Wayne T. Lanini, Emma E. Torbert, Kate M. Scow (UC Davis)	小林健児 (京都大)
10:30	53	除草剤抵抗性遺伝子導入作物利用による雑草防除技術の限界性(アメリカにおける事例調査) ○佐合隆一(茨城大学農学部)	山下純 (岡山大)
10:45	54	穀物輸入港周辺における除草剤抵抗性雑草 <i>Lolium</i> spp. の分布: 2年間の比較 ○下野嘉子・小沼明弘(農環研)	大段秀記 (九州沖縄農研)
11:00	55	ガーナ共和国のサバンナ低湿地稲作における雑草相の特徴 ○森田弘彦(秋田県立大・生物資源科学)・内野彰(中央農研)・Inusah, Yahaya (Savanna Agricultural Research Institute, Ghana)・坂上潤一(国際農研)	【分類番号】 1. 雑草 1-1 分類・分布・群落・遷移 1-2 生理・生態・形態 1-3 雑草害・競合・他感作用 1-4 利用・水質浄化・砂漠緑化 1-5 その他
11:15	56	ガーナ共和国のサバンナ低湿地稲作における雑草防除の事例 ○内野彰(中央農研)・森田弘彦(秋田県立大・生物資源科学)・Inusah, Yahaya (Savanna Agricultural Research Institute, Ghana)・坂上潤一(国際農研)	2. 雑草の防除・管理 2-1 水田 2-2 畑・転換畑 2-3 草地・芝生 2-4 樹園地・林地 2-5 非農耕地 2-6 その他
11:30	57	エチゼンクラゲ類を利用した緑化資材とチガヤの生育 ○江崎次夫・河野修一・稲本亮平・河崎哲郎(愛媛大・農)・全 権雨(江原大・山)	3. 除草剤(植物生理活性物質を含む) 3-1 生理活性・作用性(新除草剤紹介) 3-2 作用機構・選択性機構 3-3 除草剤抵抗性 3-4 環境中での動態 3-5 剤型・施用法 3-6 その他
11:45	58	沖縄本島南部地域のサトウキビ畑におけるヤブガラシ類の発生実態 ○比屋根真一*・與儀喜与政*・友利研一*・出花幸之助*(沖縄県農業研究センター)・高江洲賢文*(沖縄県農業研究センター名護支所)	4. 海外事情
12:00		昼食	
13:00	59	雑草の山岳域への侵入経路の解明と影響評価に関する研究 4. 白山の高山帯・亜高山帯に侵入した外来タンポポの実体 ○中山祐一郎・寺尾勇人・西野貴子(大阪府立大)・野上達也(石川県白山自然保護センター)・柳生敦志(石川県立金沢桜丘高等学校)	松本洋 (福井総合植物園)
13:15	60	ヤブガラシ類2種の沖縄県と西日本における分布 ○高江洲賢文・大城篤(沖縄県農研セ名護)・比屋根真一・山口悟・與儀喜代政(沖縄県農研セ)	三浦励一 (京都大)
13:30	61	ニワゼキショウの自然雑種の母親はオオニワゼキショウである ○山口裕夫・F. Javadi・大野朋子(大阪府立大生命環境)	農大城セ(沖縄県)
13:45	62	キク科トキンソウ属の新植物: ムラサキトキンソウ(新称) ○赤井賢成(福井県立大学)・松岡成久(兵庫県植物誌研究会)・小川誠(徳島県博)・矢野興一・池田博(東京大学総合研究博物館)・吉岡俊人(福井県立大学)	
14:00	63	雑草を含むカヤツリグサ属(カヤツリグサ科)の分類学的再検討 ○吉野将史(岡山大院・自然科学), 山下純(岡山大学・資生研), 榎本敏(岡山大学・資生研)	
14:15	64	アゼガヤの湛水条件下での出芽に関する考察 ○住吉正・小荒井晃・大段秀記(九州沖縄農研)	ポスター公開
14:30	65	帰化アサガオ類の生存と生育に及ぼす湛水条件の影響 ○住吉正(九州沖縄農研)	
14:45		休憩	
15:00		閉場	ポスター説明1 (奇数番号)
16:00			閉場

一般講演 4月11日(日) 第2日 午前・午後

講演番号 分類番号	第1会場 (8F 福井県民ホール)		座長	第2会場 (6F 福井市地域交流プラザ601)		座長
	講演番号	分類番号		講演番号	分類番号	
9:15	閉場			閉場		
10:15	休憩					
10:30	16 1-3	ツノアイアシ(<i>Rottboellia exaltata</i> L. f.)の生育に伴う他感作用の変動 ○山村望・山路恵子・小林勝一郎(筑波大・生命環境)	松尾光弘 (宮崎大)	41 2-2	麦大豆輪作体系における夏季石灰窒素施用及び小麦作期移動がネズミムギの埋土種子量に及ぼす影響 ○石田義樹(静岡農林研)・浅井元朗(中央農研)・木田揚一(静岡県産業部)	伏見昭秀 (近中四農研)
10:45	17 1-3	南米原産の雑草 <i>Cleome aculeata</i> のアレロパシー活性の検定と揮発性アレロパシー物質の同定 ○仲森前原 貴志・宮浦理恵(東京農業大学)・藤井義晴(農業環境技術研究所)	齊藤良文 (香川大)	42 2-2	帰化アサガオ類の生活史特性と対策 1.開花結実の日長と温度反応性 ○澁谷知子・渡邊寛明・黒川俊二・浅井元朗・中谷敬子・三浦重典(中央農研)	川口佳則 (岡山大)
11:00	18 1-3	南米原産の雑草 <i>Aloystia polystachya</i> (Burrito) のアレロパシー活性のディッシュバック法による検定とアレロパシー物質の同定 ○仲森前原 貴志・宮浦理恵(東京農業大学)・藤井義晴(農業環境技術研究所)	下野嘉子 (農環研)	43 2-2	帰化アサガオ類の生活史特性と対策 2. 茨城県筑西市での現地調査事例 ○黒川俊二・渡邊寛明・澁谷知子(中央農研)	稲垣茶洋 (静岡農林研)
11:15	19 1-3	エンバク近縁種 (<i>Avena strigosa</i>) のアレロパシー活性と圃場における雑草抑制作用 ○野村卓史(宇都宮大)・中谷敬子(中央農研)・加茂綱嗣(農環研)・米山弘一(宇都宮大)・藤井義晴(農環研)	赤坂舞子 (中央農研)	44 2-2	帰化アサガオ類の生活史特性と対策 3. 2008年大豆作での発生地域と適応可能地域の推定 ○渡邊寛明・澁谷知子・黒川俊二(中央農業総合研究センター)	
11:30	20 1-3	北海道で利用が期待される畦畔管理植物のアレロパシー活性の検定 ○野村卓史(宇都宮大)・豊川良昭(名久井農高)・生方雅男(北海道立花・野菜技術センター)・米山弘一(宇都宮大)・藤井義晴(農環研)	中嶋佳貴 (岡山大)	45 2-2	愛知県のダイズ畑における帰化アサガオ類の発生の推移 ○徐 錫元(バイエルクロップサイエンス)	
11:45	21 1-3	ナガミヒナゲシの東京都世田谷区における分布とアレロパシー活性 ○宮浦理恵・藤井玲子・野際陽介・三品絵美(東京農大)・藤井義晴(農環研)		46 2-2	東海地域の田畑輪換田における稲刈り後の帰化アサガオ類発生について ○徐 錫元(バイエルクロップサイエンス)	
12:00	昼食					
13:00	22 1-3	ハーブ類植物のアレロパシー活性の多面的評価 ○宮浦理恵・早乙女 彩・郭 裕彬(東京農大)・藤井義晴(農環研)		47 2-2	Remediation of As contaminated soils using barnyard grass and rice ○Sultana Razia・Katsuichiro Kobayashi(Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)	汪光熙 (京大)
13:15	23 1-3	外来牧草 <i>Brachiaria</i> 類のアレロパシー活性の生物検定法による評価 ○藤井義晴(農環研)・Fernanda S. Ikeda(サンパウロ大)・加茂綱嗣(農環研)・平館俊太郎(農環研)・加藤尚(香川大学)		48 1-4	Salt Effect on Growth Characteristics and Biomass Accumulation of Torpedograss (<i>Panicum repens</i> L.) ○Amzad Hossain (University of the Ryukyus)	
13:30	24 1-3	ヨモギ、ススキ、ヤマハギ等の外国産在来緑化植物のアレロパシー活性の在来種との比較 ○藤井義晴(農環研)・加茂綱嗣(農環研)・平館俊太郎(農環研)		49 1-4	ダイズ栽培における温室効果ガスのライフサイクルインベントリ ーリビグマルチ栽培、カバークロープ栽培および不耕起栽培の防除作業を中心に ○好野奈美子・内田智子・小林浩幸・教敏(東北農研)	辻本淳一 (宮城県古川農試)
13:45	25 1-3	オンダに含まれるアレロパシー物質の単離・同定とその生理活性 ○齊藤良文・加藤尚(香川大・農)		50 1-3	暖地の水稲群落内で異なる時期に発生したクサネムの生育と種子生産量 ○小荒井晃・住吉正・大段秀記(農研機構・九州沖縄農研)	
14:00	閉会挨拶 (座長)			閉会挨拶 (座長)		
14:15	閉場			小集会1 外来雑草問題研究会 「第3回 特定外来生物アレチウリを例としたネットワーク構築の可能性」 話題提供者: 黒川俊二(中央農研)、平 智文(宮城県古川農試)、木浦卓治(中央農研) 世話人: 黒川俊二(中央農研)、浅井元朗(中央農研)、西田智子(農環研)		
16:00				小集会2 第6回雑草の個体群生態学研究会・大会運営委員会企画 「外来草種による繁殖干渉:競争排除・分布を説明する新要因の理論と実証」 話題提供者: 高倉耕一(大阪市立環境科学研究所)・藤井伸二(人間環境大学環境保全) 世話人: 渡辺修(信大農)・浅井元朗(中央農研)・三浦励一(京大農)、大会運営委員会		
17:00	閉場					

一般講演 4月11日(日) 第2日 午前・午後

講演 番号 分類 番号	第3会場 (6F 福井市地域交流プラザ607)		座長	ポスター会場 (5F ギャラリー)		
				ポスターを14:00までに撤去して下さい。 ベストポスター賞投票を12:30までに済ませて下さい。		
9:15		閉場			ポスター説明2 (偶数番号)	
10:15	休憩					
10:30	66 1-2	センテピードグラスを植栽した畦畔からの種子繁殖による逸出可能性の検討 ○川口佳則(岡山大・環境学研究科)・井上拓弘(滋賀県大津・南部農業農村振興事務所)・沖陽子(岡山大・環境学研究科)・長谷川博(滋賀県立大・環境科学部)	今泉智通(中央農研)	ポスター公開		
10:45	67 1-2	ミズアオイ集団における昆虫の訪花行動 ○藤野美海・赤井賢成*・汪光照・富永達(京都大農学研究科)・*福井県立大学)				
11:00	68 1-2	雑草埋土種子の抽出法の選択-比重分離法か直接法か- ○小林浩幸・敷敏・好野奈美子(農研機構 東北農研)	水口亜樹(農環)			
11:15	69 1-2	ネズミムギの発芽動態に対するHydrothermal timeモデルの適用 ○足立行徳, 市原実, 山下雅幸, 澤田均(静岡大・農), 石田義樹(静岡農林研), 浅井元朗(中央農研)				
11:30	70 1-2	ヒイラギヤブガラシ種子の発芽特性解明の試み ○與儀喜代政・大見のり子・比屋根真一・出花幸之介(沖縄県農業研究センター)・高江洲賢文(沖縄県農業研究センター名護支所)	中山祐一郎(大阪府)			
11:45	71 1-2	発育指標(DVI)を用いたツルマメの開花予測モデルの作成 ○大東健太郎(農業環境技術研究所)・水口亜樹(農業環境技術研究所)・吉村泰幸(農業環境技術研究所)・中谷敬子(中央農業研究センター)・松尾和人(農業環境技術研究所)				
12:00	昼食					12:30 ベストポスター賞投票受付終了
13:00	72 1-2	水稲乾田直播栽培の水田内と畦畔におけるイボクサの生育量と種子生産量 ○川名義明・渡邊寛明(中央農業総合研究センター)	好野奈美子(東北農)			ポスター公開
13:15	73 1-2	水稲乾田直播栽培の水田内と畦畔におけるイボクサ埋土種子量の推移 ○川名義明・渡邊寛明(中央農業総合研究センター)				
13:30	74 1-2	長野県のコムギ栽培におけるアブラナ科帰化雑草の越冬個体率とコムギの減収率 ○青木政晴(長野農試)・浅井元朗(中央農研)・酒井長雄(長野農試)	橘雅明(農研機構)			
13:45	75 1-2	長野県のコムギ栽培におけるアブラナ科帰化雑草種子への夏期ほ場管理の影響 ○青木政晴(長野農試)・浅井元朗(中央農研)・酒井長雄(長野農試)				
14:00	閉会挨拶 (座長)			ポスター撤去		
14:15	小集会3 雑草利用研究会「雑草からの植物病害抵抗性誘導物質の探索」 講演者: 稲垣崇洋(静岡県農林技術研究所) 世話人: 小林勝一郎(筑波大・生命環境)・沖陽子(岡山大・環境学研究科)					
15:15		閉場				

ポスター発表 4月10日(土) 第1日 15:00~16:00

ポスター発表 4月11日(日) 第2日 9:15~10:15

ポスター 番号 分類番号	タイトル・発表者・所属	ポスター 番号 分類番号	タイトル・発表者・所属
P1 1-1	センチピードグラスおよびヒメイワダレソウを植栽した畦畔における発生雑草の傾向 ○川口佳則(岡山大・環境学研究所)・井上拓弘(滋賀県大津・南部農業農村振興事務所)・沖陽子(岡山大・環境学研究所)	P2 1-1	矮性チガヤの生育(Ⅲ) ○江崎次夫・河野修一・稲本亮平・川崎哲郎(愛媛大・農)・全 権雨(江原大・山)
P3 1-1	北海道におけるミゾソバの葉緑体ゲノムの遺伝変異 ○横田仁美, 我妻尚広, 岡本吉弘(酪農大大学院)	P4 1-1	北日本海地域における帰化アサガオ類の分布 ○保田謙太郎(秋田県立大)
P5 1-1	雑草性赤米とコシヒカリの交配後代における生理形態と遺伝的特徴 ○赤坂舞子(中央農研)・細井 淳(長野県農試)・牛木 純(北農研)	P6 1-1	日本においてセイヨウナタネが雑草化する可能性 ○水口亜樹・大東健太郎・西田智子・吉村泰幸・松尾和人(農業環境技術研)
P7 1-1	雑草リスク評価法(WRA)を用いた作物の雑草性評価ー遺伝子組換え作物のリスク評価のワンストップとしてー ○吉村泰幸・水口亜樹・西田智子・大東健太郎・松尾和人(農業環境技術研)	P8 1-1	京都市高野川水系に侵入した特定外来生物オオカワヂシャの分布と種子繁殖特性 ○國見恭子・三浦励一・富永達(京都大学 農学部)
P9 1-1	アジア産ミズアオイ属水生雑草の細胞分類学的再検討 ○河原碧・汪光熙(京大農)・Siriporn Zungontiporn(Department of Agriculture, Thailand)・富永達(京大農)	P10 1-1	高山帯に侵入したスズメノカタビラとオオバコの分布特性 ○大村匡弘・渡辺修(信大農)・中山祐一郎(大阪府大)
P11 1-1	ヨシ群落保全のための維持管理法に関する提言 ○河野雅史・沖陽子・中嶋佳貴(岡山大・環境学研究所)	P12 1-1	GeoEye-1高分解能衛星画像を用いた水田内の強雑草発生箇所抽出の試み 赤井賢成(福井県立大)・○間脇正博(池田町農林公社)・鈴木研二(日本スペースイメージング株式会社)・渡辺 修(信州大)・吉岡俊人(福井県立大)
P13 1-1	DNASYS Taxonを用いた水田雑草DNAデータベースの作成 赤井賢成(福井県立大)・○荒木栄一・水沼 貞(日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)・吉岡俊人(福井県立大)	P14 1-2	土壌の違いが水田土壌溶液中におけるコナギの発芽に及ぼす影響 一米ぬかを添加することにより増加する溶液のECとコナギ発芽率との関係ー ○野副卓人(北農研)・橋雅明(東北農研)・内野彰(中央農研)
P15 1-2	有機水稲栽培水田におけるコナギ種子生産量の推定 ○白井靖浩(東北農業研究センター)・宮本英揮(明治大学研究・知財戦略機構)・長谷川浩(東北農業研究センター)	P16 1-2	コナギとホソバコナギの花序および花器形態の比較 ○藤野美海・汪光熙・Siriporn Zungontiporn*・富永達(京都大農学研究科・*Plant Protection Research and Development Office,Thailand)
P17 1-2	ノハカタカラクサの生態的特性に関する2, 3の観察 ○松尾光弘・三浦剛・寺尾寛行・小川紹文	P18 1-2	産地と生態的特性を異にする秋田県産イヌビエ幼植物の葉齢の測定 ○森田弘彦・三浦恒子(秋田県立大院・生物資源科学研究所)
P19 1-2	暖地表作圃場に発生する数種イネ科雑草の出穂と気温の関係 ○大段秀記・住吉正・小荒井晃(九州沖縄農業研究センター)	P20 1-2	塊茎からの出芽におけるオモダカとウリカワの伸長器官の差異 ○池町健太(神戸大)・東哲司(神戸大)・伊藤一幸(神戸大)
P21 1-2	神戸市有機農家圃場における発生植物の多様性 ○藤原さゆり・伊藤一幸・東哲司(神戸大・農)	P22 1-2	神戸大学周辺におけるつる性侵入植物ツルニチソウの耐陰性の解明 ○踞尾みのり・深山浩・東哲司・伊藤一幸(神戸大学・農)
P23 1-2	水田畦畔における刈取り頻度とオオバコの再生反応 ○松嶋賢一・玉井富士雄・福山正隆(東京農大農学部)	P24 1-2	キク科コンギク族(Trib.Astereae)植物のPCR-RFLP法によるプロピレン産生能特性の解析 紫藤優子・横内茂・荒川征夫・○坂齊(名城大学 農)
P25 1-2	スラグがサワズメノヒエの生育に及ぼす影響とその軽減方法の検討 ○上化田圭一・沖陽子・中嶋佳貴(岡山大・環境学研究所)	P26 1-2	ブラジルチドメグサの伝播・繁殖に関わる横走茎切断片の生育特性 ○中嶋佳貴・沖陽子・西井芳枝(岡山大・環境学研究所)
P27 1-2	福井県立高志高等学校周辺における特定外来生物オオキンケイギクの分布と侵入経路 ○斎藤聖也・猪坂純平・荻野裕平(福井県立高志高等学校生物部)・三谷和範(福井県立高志高等学校)・赤井賢成・吉岡俊人(福井県立大)	P28 1-2	福井市における特定外来生物オオキンケイギクの分布と生育状況 ○高橋智子・赤井賢成・吉岡俊人(福井県立大)
P29 1-3	石灰窒素の土壌混和が雑草の発生および生育へ与える影響 ○大城篤・高江洲賢文・照屋寛由・仲里富雄・仲村伸次(沖縄県農業研究センター名護支所)	P30 1-3	生長抑制活性を示すD-ブシコースに応答するシロイヌナタンタンパク質の解析 ○加藤 尚・岡田 梢(香川大学・農)
P31 1-3	アカマツに含まれる主要な生長抑制物質 ○加藤 尚・伏見 良子(香川大・農)・末永聖武(慶應大・理工)	P32 1-3	ネコノヒゲに含まれる生長抑制物質の単離と同定 ○加藤 尚・濱田直子(香川大・農)・末永聖武(慶應大・理工)
P33 1-3	Suppressive effects of weeds using barley/rape as living mulch in chinese milk vetch-soybean cropping system ○Hwang Jaebok, Hwang Jaebok, Lee Yonghwan, Park Kido, Jung Kiyoul, Yun Eulsoo, Park Changyoung (National Institute of Crop Science, RDA)	P34 1-4	土壌中に存在するカドミウムの吸収能における雑草間比較 ○河西宏昭・小林勝一郎(筑波大・生命環境)
P35 1-4	土壌中におけるカドミウムの存在形態とイヌビエによる吸収 ○黒澤典明・小林勝一郎(筑波大・生命環境)	P36 1-4	水田雑草及び作物の水質浄化能力における季節性の比較 ○高橋祥子・沖陽子・中嶋佳貴(岡山大・環境学研究所)

P37 1-4	フイの抗菌作用に関する基礎研究 ○沖陽子・西村宏明・中嶋佳貴(岡山大・環境学研究所)	P38 1-5	農民・市民参加による農村植生の評価手法の開発(2)畦畔植生を対象とした調査設計とその適用事例 ○嶺田拓也・松森堅治(農研機構・農村工学研究所)
P39 2-1	水稲有機栽培田におけるナタネ油搾り滓の処理と機械除草が雑草発生量と水稲の生育に与える影響 ○須藤健一・牛尾昭浩(兵庫県立農林水産技術総合センター)	P40 2-1	来歴の異なる圃場における中干し以降に発生する雑草ヒエの生育 ○三浦恒子・進藤勇人・佐藤雄幸(秋田農技セ)・森田弘彦(秋田県立大)
P41 2-1	マラウイの天水田における籾穀・米ぬかをを用いた雑草防除 ○竹村光春・伊藤一幸・東哲司(神戸大院農学研究所)	P42 2-1	稲ワラの分解程度の違いが雑草および水稲生育に及ぼす影響 ○加藤 茂・三木孝昭・阿部大介・岩石真嗣・原川達雄(自然農法センター)
P43 2-1	寒冷地の有機稲栽培において稲ワラが雑草制御に与える影響 ○岩石真嗣・三木孝昭・阿部大介・加藤茂(自然農法センター農業試験場)	P44 2-2	乾性火山灰土での埋土種子調査法について ○石川枝津子(北農研)・小林浩幸(東北農研)
P45 2-1	雑草性赤米の埋土種子量推定と移植による防除効果 ○渡辺修(信大農)・高山侑也(ハナマルキ)・細井淳・青木政晴・酒井長雄(長野県農試)・牛木純(北農研)	P46 2-2	カバークロープ栽培や湛水などの圃場管理が畑雑草の発生および埋土種子の動態に及ぼす影響 ○鄭 凡喜・澁谷知子・三浦重典・中谷敬子(中央農研)
P47 2-2	アブラナ科野菜の総合的作物栽培管理技術開発における局所施肥と雑草への影響 ○内山知二・佐野修司・森塚直樹・野口勝憲・紀岡雄三(1:大阪環農水総研, 2:京都大院, 3:片倉チッカリン(株))	P48 2-2	Response of NERICA rice to <i>Striga hermonthica</i> infections in Western Kenya ○E. A. Atera, K. Itoh and T. Azuma (GSAS, Kobe University)
P49 2-2	燐化アサガオ類の生活史特性と対策 4.大豆作で畦間処理できる数種除草剤に対する反応 ○澁谷知子・黒川俊二・渡邊寛明・浅井元朗・中谷敬子・三浦重典(中央農研)	P50 2-2	茨城県大規模水田輪作地域における大豆作の雑草発生実態調査およびGISを用いた解析—ブロックローテーション3年間の発生実態および大豆播種法との関係— ○中谷敬子・澁谷知子・淵山律子・三浦重典(中央農研)
P51 2-2	ダイズ生育期におけるグリホサートカリウム塩液剤(グリホサートカリウム塩44.7%)の雑草塗布処理技術—塗布処理器の改良— ○平智文・大川茂範(宮城古川農試)・阪上和久・若橋末広・中島嘉秀(シンジェンタジャパン)・梁瀬俊之(サンエー)	P52 2-2	愛知県のダイズ畑に侵入した新たな問題雑草とグルホシネートによる防除 ○徐 錫元・北村直之(バイエルクロープサイエンス)
P53 2-2	リビングマルチ大豆栽培農家圃場における埋土種子と雑草発生量の関係 ○教敏・小林浩幸・好野奈美子・内田智子(農研機構 東北農研)	P54 2-6	自然植生保護地域における雑草防除優先順位決定システムの構築 1. 雑草のリスク評価について ○西田智子(農環研)・高橋秀夫(東大)・楠本良延・下野嘉子・徳岡良則・細木大輔・山本勝利(農環研)
P55 2-3	土壌硬化資材が畦畔植生に及ぼす影響 ○上野秀治・前野正博(福井県農業試験場)・赤井賢成・吉岡俊人(福井県立大学)	P56 3-1	エチレン産生能から見たグリホサート等数種除草剤に対する植物の応答 原聡・宇佐見仁・横内茂・坂齊(名城大 農)
P57 2-6	ジュートをを用いたグラウンドカバープランツの植栽における苗の生育と雑草の発生 ○大谷一郎・伏見昭秀(近中四農研)	P58 3-2	キンクロラククによる活性酸素発生機構の検討: MTT還元能とATP含量への影響 ○山崎博貴・春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)
P59 3-1	シラン(<i>Bletila striata</i>)のアレロパシーと全活性法に基づく作用物質の同定 ○竹村知子・作野えみ・加茂綱嗣・平館俊太郎・藤井義晴(農業環境技術研究所)	P60 3-2	メタチロシンの植物毒性作用発現時におけるタンパク質への取込みとアミノ酸の変動 ○松本宏・武井絃子・八戸真弓・春原由香里(筑波大・生命環境)
P61 3-2	プロテオーム解析を用いた数種除草剤の作用機序の検討 ○川崎翔太・八戸真弓・春原由香里・松本宏(筑波大・生命環境)	P62 3-3	トキワハゼのパラコート抵抗性および感受性生物型の抗酸化酵素活性 ○辻賢一郎・細川宗孝・三浦励一・富永達(京都大農学研究所)
P63 3-3	Mechanism of trifluralin resistance in <i>Alopecurus aequalis</i> found in Kyushu Saima Hashim ¹ , Mayumi Hachinohe ¹ , Yukari Sunohara ¹ , Hideki Ohdan ² and Hiroshi Matsumoto ¹ (¹ Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, ² National Agricultural Research Center for Kyushu Okinawa Region)	P64 3-3	イネ培養細胞の除草剤応答発光 ○貫井秀樹・伊代住浩幸・加藤公彦(静岡県農林研)
P65 3-3	石垣島におけるスルホニルウレア系除草剤抵抗性コナギの分布 ○浅野紘臣(日本大)・伊藤健二(デュポン株)・岸野満(植調協会)・今泉智通・内野彰(中央農総研センター)	P66 3-6	<i>Lemna</i> 属ウキクサを用いた生長阻害試験の試験条件の検討 ○石原悟・佃美和(FAMIC農業検査部)
P67 3-5	水分含量の異なる土壌中におけるベンチオカーブの粒剤からの放出と挙動 ○木村和真・小林勝一郎(筑波大・生命環境)	P68 1-2	コハコベ埋土種子の死滅に関与する土壌微生物の単離同定とメタゲノム解析 ○吉岡俊人・寺田誠士郎(福井県大・生物資源)・吉川真由((株)サンワコン)
P69 3-6	被子植物が示すキラル応答性と植物分類との相関性の一考察 ○小島久弘(宇都宮大・雑草科学)・但木亮太(宇都宮大・雑草科学)・重川弘直(宇都宮大・雑草科学)		

日本雑草学会第 49 回大会運営委員会名簿

委員長	吉岡 俊人	福井県立大学
副委員長	渡邊 肇	新潟大学
幹事	赤井 賢成	福井県立大学
委員(福井)	井上 健一	福井県農業試験場
	斉藤 一男	日本植物調節剤研究協会
	佐治 健介	株式会社白崎グリーンナップ
	杉本 敬一	株式会社サンワコン
	高橋 智子	福井県立大学
	平山 亜希子	福井県自然保護センター
	松本 淳	越前町立福井総合植物園
	八木 健爾	株式会社環境アセスメントセンター
	吉川 真由	株式会社サンワコン
	和田 陽介	福井県農業試験場
委員(新潟)	種田 貞義	日本植物調節剤研究協会
	東 聡	新潟県農業総合研究所作物研究センター
	服部 眞幸	県央研究所
	古畑 昌巳	中央農業研究センター北陸研究センター
委員(富山)	川口 祐男	富山県農林水産総合技術センター
委員(石川)	永畠 秀樹	石川県農業総合研究センター
委員(大阪)	石川 芳弘	三井化学アグロ株式会社
	鎌田 祐介	日本農薬株式会社